



18000-XK7C-K1S0 SPORTS SILENCER

for HONDA Fit

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
本製品は一般公道上でご使用いただく為、保安基準に適合する様、開発・製造されております。
《JASMA（日本自動車マフラー協会）によって認定登録された商品です。》

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に車両の型式の確認を行って下さい。
[適応車種] FIT L A-GD1・DBA-GD1
CBA-GD3・DBA-GD3
[JASMA認定番号] 03S03800
3. 適応車種に正しく装着された場合は、改造申請不要です。
4. 本製品の車両への取り付けは、サービスマニュアルと本書に従って、自動車整備工場やホンダディーラーで行って下さい。
5. 本製品のホンダ純正用品との同時装着の可否については、原則として未確認です。
6. 本製品の加工・組み付け不良・誤使用による不具合・事故等につきましては、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
7. 他の型式の車に取り付けますと保安基準に適合しなくなり、車検に合格しなくなるばかりか大変危険ですのでお止めください。
8. 組み付け不良・外れ・経年劣化等により、マフラーの機能を十分に果たさないと判断された場合車検に合格しないことがあります。販売店に相談し新品に交換して下さい。
9. 「JASMA登録認定書」は、本製品が保安基準を満たすことを証明する書類です。車検証と一緒に大切に保管し、車検の際には速やかにご提示ください。

この取付・取扱説明書とJASMA認定書は、組み付け後・納車時に必ずお客様にお渡し下さい。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業課

TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

【営業時間 9:00~18:00】

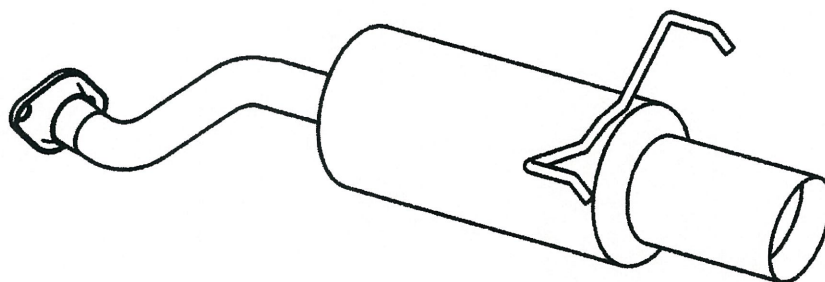
< 本製品の内容 >

梱包箱を開けたら、まず下記のものが揃っているかどうか、確認してください。

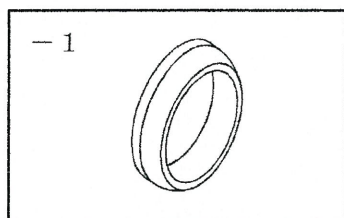
万一、足りない場合や破損していた場合は取り付けをせずに、すぐにお買い求めの販売店もしくは弊社営業部宛にご連絡ください。

	数量
① サイレンサー本体	1
② 小部品セット	1
－ 1 ガasket フレックス	(1)
③ 取扱説明書セット	1
－ 1 取扱説明書 (本書)	(1)
－ 2 JASMA 認定書	(1)
－ 3 アルミニウムエンブレムステッカー	(1)

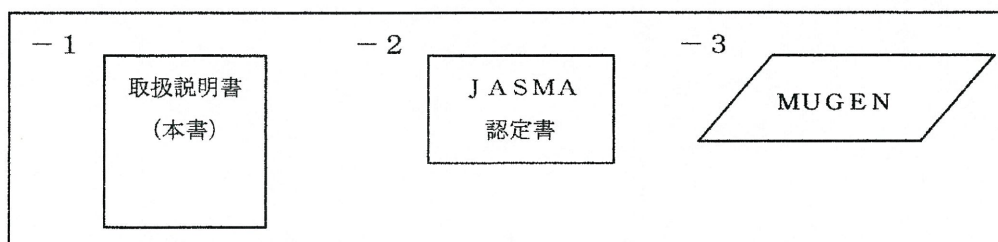
①



②



③

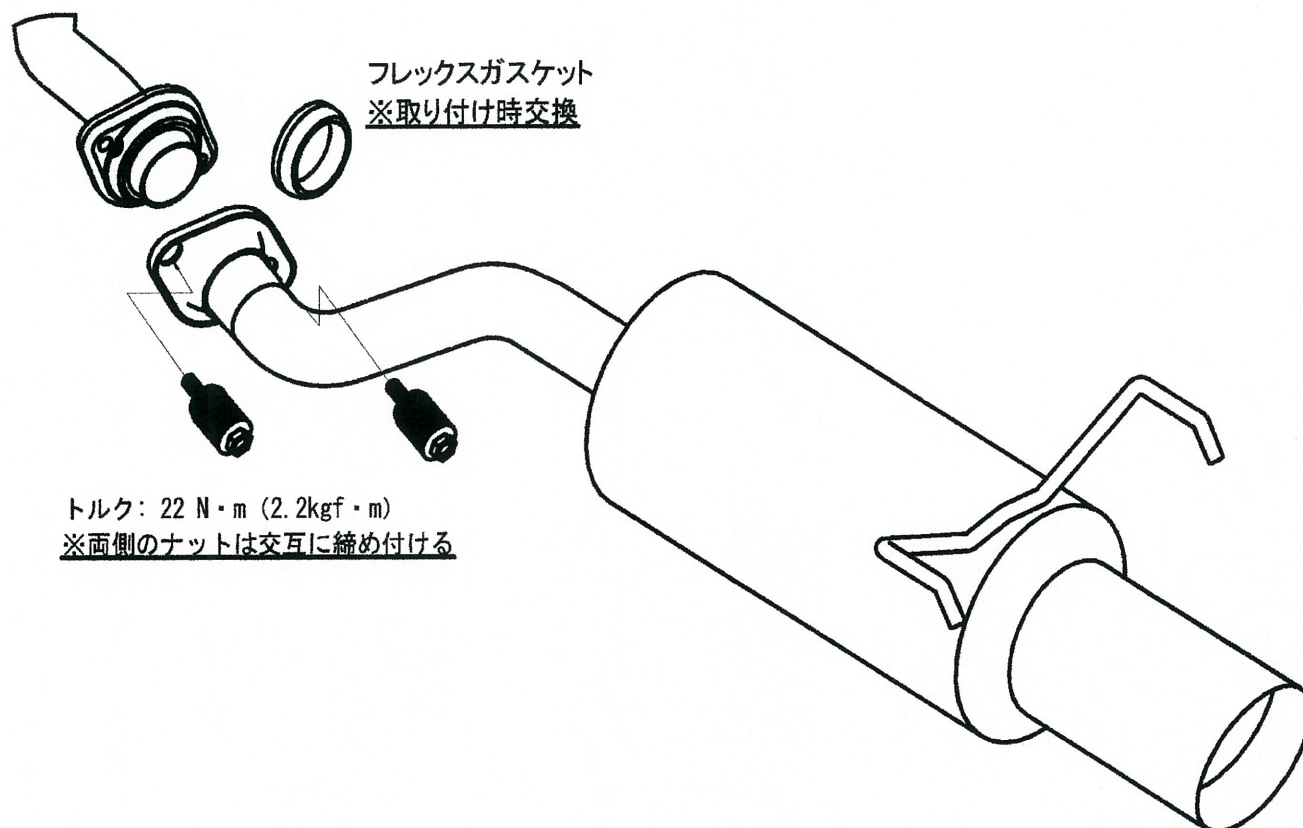


JASMA 認定書の表示番号とサイレンサー本体の JASMA プレートの番号が同一かどうか確認してください。

取り付けに際してのご注意

- ・排気系の部品は、ボルト、ナットが錆び付いて緩みにくいことがあります。
無理な力を加えず、スプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業してください。
- ・素手での作業は火傷や怪我の原因となりますので、必ず軍手等をして作業してください。
- * 純正部品の取り外しは、ホンダサービスマニュアルを参照の上行ってください。

< 取り付け方法 >



取り付け終了後・・・

各接合部よりガス漏れのないことを確認してください。

【火傷に注意】

- ・ エンジンがかかっているとき、および停止直後には、マフラー本体が非常に高温となります。特にテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れやすいので、気を付けてください。触れると火傷の危険があります。また、駐停車する際は、近くに燃えやすいものがないことを確認してください。

【排気ガスに注意】

- ・ 自動車の排気ガスには、人体に対して有害な成分が含まれています。直接、吸い込んだりしないよう十分注意してください。
- ・ アイドリングをしたまま仮眠をしたり、閉め切った車庫の中でエンジンをかけ続けていると、一酸化炭素中毒の危険があるため十分注意してください。

【取り扱いの注意】

- ・ 自動車の運転状況や保管場所（塩分や湿気の多い等）状況によっては、マフラーの消音性能が劣化したり、腐食して穴があいたりする場合があります。そのまま使い続けると排気ガスが漏れたりして大変危険です。日常点検や定期点検はきちんと行い、本来の性能下でご使用ください。
- ・ 本製品は、純正品に対して錆びにくいステンレス材を用いて製作されています。ただし、ステンレス材でもマフラーの高熱による負荷のもとでは錆や劣化が早まる場合があります。
- ・ 車高を極端に下げる改造を行なうと、凹凸路面や縁石などの突起物にマフラーが接触し、破損する恐れがあります。法規で定める最低地上高（90mm）は確保してください。
- ・ 洗車の際に排気管出口より水が入らないようにご注意ください。マフラー内部に水が溜まることによって吸音材が所定の性能を発揮できず、十分な消音ができなくなります。また特に冬季においてはエンジンからの燃焼ガス内に発生する水蒸気によってマフラー内部に水が溜まりやすくなり一時的に消音性能が低下することがありますので、長時間のアイドリングや空ぶかし等は行わないようにご注意ください。

取付販売店名：

所在地：